

新型コロナの第7波により感染が拡大しています。行動制限がない中、その行動と感染対策は私たちそれぞれに委ねられています。こんな時こそ人権感覚が問われます。自分のことしか考えないで心無い行動や傷つける一言を発してしまう人もいます。人を思いやりその人の立場になって考えられる、その意識と行動は人権感覚を写す鏡となります。どんな時でも変わらない思いやり、それが本物の人権感覚と言えます。



## 子どもの“ネット依存”にどう関わるか

### 子どものネット利用時間がコロナ禍で急増

一昨年のはじめから始まった我が国のコロナ禍は、オミクロン株など感染力の強い変異株が次々と現れ、いまだに収束の兆しが見えません。そうした中、KDDI総合研究所等が昨年10月に発表した調査結果(全国の成人男女・約5万人を対象)によると、コロナ禍になってからスマホの利用時間が増え、ゲーム障害やネット依存傾向の割合が1.5倍以上上昇した、とのこと。

また、内閣府が行った「令和3年度・青少年のインターネット利用環境実態調査」によれば、「インターネットを利用する」と回答した青少年(10歳～17歳)の【平日】平均利用時間は、前年度と比べ約1時間増加し、約4時間24分。どの学校種(小・中・高校)も前年度と比べ約1時間増加し、高校生は約5時間31分、中学生は約4時間19分、小学生(10歳以上)は約3時間27分、とのこと。

さらに目的毎の利用時間割合では、趣味・娯楽が最も多く約52%。次いで、勉強・学習・知育が約19%。保護者・友人等とのコミュニケーションが約18%、となりました。

なお、厚生労働省の2018年度調査では、インターネット依存が疑われる中高生が全国で推計93万人(全体の12～16%)、「予備軍」の不適應使用者を含めると254万人に上りました。中高生全体の半数前後がネットのやり過ぎで成績低下などを経験していましたが、コロナ禍で一層の深刻化が懸念されます。

### ネット依存は心の問題

子どものネット依存研究者として著名な竹内和雄氏(兵庫県立大学環境人間学部准教授)は、「心に大きなストレスや悲しみを抱えた子ども達が、ネットに救いを求めている」面が背後にあることを指摘しています。同氏の著書「10代と考えるスマホ」(2022年、岩波書店)では、ネット接続時間が長い中学生ほど、「友人満足」や「家族満足」、「自分満足」等が低い傾向にあることが示されています。(同書P23～27、出典：神戸市「神戸市ネット利用アンケート」(2021年))

そうした問題を抱えている子どもには、単にネット利用を制限するだけでは不十分です。本人の“心の飢え”をどうしたら満たすことができるかを保護者や学校等は真剣に考え、当事者に寄り添った対策に取り組む必要があると思います。

学校の教室や部活動などに自分の“居場所”を見いだせない子ども達や、親が子どもの成長を十分にサポートできない家庭の子ども達をどのように支えていくべきか?不登校の子どもへの対応、スマホ依存への対応、双方に共通して大切なのは「居場所をつくってあげること」と「夢中になれるものに出会うこと」です。

山梨県(子育て支援局子ども福祉課)でも近年、市町村が取り組む子どもの居場所づくり(子ども食堂や子どもの学習支援等)を「やまなし子どもの居場所づくり推進事業費補助金」などで応援するようになりました。私たち大人も、身近に関わる子ども達が何かしら(スマホやネットゲーム以外に)夢中になって取り組めるものを発見する応援ができるよう、心がけていきたいものです。

(※1)  
内閣府「令和3年度 青少年の  
インターネット利用環境実態  
調査結果(概要)」



(※2)  
山梨県教育委員会(生涯学習課)  
「低年齢層(2～12歳)保護者向け  
「ほっと!ネットセミナー」



## 活動報告

**人権啓発パネル展** 8月10日(水)～8月15日(月)甲府市総合市民会にて、8月10日(水)～8月23日(火)甲府市北東公民館にて、人権啓発パネル展を開催。

**人権啓発映画会** 8月13日(土)、甲府市総合市民会館にて人権啓発映画会を開催。

**人権移動教室** 8月3日(水)、甲府市上下水道局にて人権移動教室を開催。



## 今後の予定

**人権啓発パネル展** 9月8日(木)～9月21日(水)：甲府市東公民館  
9月8日(木)～9月21日(水)：甲府市西公民館

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にてご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ  
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室  
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. [yamanashi@yihrc.or.jp](mailto:yamanashi@yihrc.or.jp)

<協賛>  
山梨県  
甲府市  
甲斐市

協賛企業：(株)成心設備、西関東開発(株)、(株)ウィルマート、(株)R&C、(株)フジコー、(株)渡辺工業所、甲府市管工事協同組合、(株)とちの木

甲府市立千塚小学校 (男子)

『人権講話』

名前( )

人権とは、自分の命と幸せを守るための権利だということが分かりました。今日の授業はとても難しい話でした。だけど命の大切さがよく分かりました。国境なし医師団は自分の危険をかえりみず、戦争や、災害、伝染病などの病気にかかっていた人や、負傷者などを助ける人たらだとよく分かりました。先生の話であった、自分がけがをしてしまったときに外国に行き、飛行機からおりるときに周りの人々が先生が飛行機からおりるのをまてあげてくれたのがすごいな〜とその人々の優しさに心を強く打たれました。

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立千塚小学校 (女子)

『人権講話』

名前( )

今日は、「人権」という事について、教えていただきました。人権とは、自分の命を守る権利と、自分の幸せを守る権利ということだそうです。今日の話聞いて、私は、「自分は、すぐ近くにいる人にやさしくできているのか、手を差し伸べてられているのか」ということを考えさせられました。例で出されたように、電車で年を老いた人が来たとして、私は、すぐに席をゆずることができるのかということも考えさせられました。今も世界には、戦争などで苦しんでいる人もいるということが分かりました。私も、自分の命と幸せを守れて、人に手を差し伸べることができるような、りっぱな大人になりたいです。